

# CASBEE<sup>®</sup>-建築(新築)

# 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 (使用評価ソフト: osk\_CASBEE-BD\_NC\_2016(v2.1))

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)江坂駅前PJ 新築工事	階数	地上10F
建設地	大阪府吹田市豊津町8-3	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	108 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年8月 予定	評価の実施日	2017年4月16日
敷地面積	485 m <sup>2</sup>	作成者	積水ハウス(株)永谷万寿美
建築面積	290 m <sup>2</sup>	確認日	2017年4月21日
延床面積	2,393 m <sup>2</sup>	確認者	積水ハウス(株)植田泰平



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.2** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (138 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

②建築物の取組み 83% (92 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

③上記+②以外の 83%

④上記+ 83%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです。

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

#### Q 環境品質

**Qのスコア = 2.9**

##### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.5

##### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.8

##### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.1

#### LR 環境負荷低減性

**LRのスコア = 3.4**

##### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.2

##### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.6

##### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合		その他
積極的に緑地を設け、周辺環境になじむように建物の色彩に配慮しました。		特にありません。
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
天井裏、下地、仕上げ等、F☆☆☆☆を使用することにし、シックハウス対策に配慮しました。	階高にゆとりをもたせ、情報通信も光ケーブルを導入しております。	建築物の色彩は周辺環境になじむよう計画しました。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
LED照明を積極的に導入し、住戸内の給湯器は高効率給湯器を採用しております。	外壁断熱材には吹付硬質ウレタンフォームA種1(ノンフロ)を使用し、住戸内はGL工法により比較的容易に分別できるよう計画しました。	広告照明は設置せず、屋外照明等も適正な範囲となるよう計画しました。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

# 大阪府建築物環境配慮評価システム 2017年版

## 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H29-0010

Osakafu-新築・既存 2017V1.0

<b>【建物概要】</b>		建物名称	(仮称)江坂駅前PJ 新築工事					
		建設地	大阪府吹田市豊津町8-3					
		用途/区分	集合住宅					
<b>【評価結果】</b>	CASBEE 総合評価					B+		
	CO2削減					4		
	省エネ対策					4		
	みどり・ヒート アイランド対策					3		
再生可能エネルギー 利用施設の導入状況		太陽光発電	—	風力	—	地熱	—	
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	
エネルギー消費量の報告							対象外	
<b>【評価項目】</b>								
省エネルギー対策		① CO2削減						
		② 省エネ対策						
項目		評価内容				スコア	評価	
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				3.6	4	
② 省 エ ネ 対 策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 2」 のスコアによる評価			建物全体	4.0	4	
					住戸・宿泊			
	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価				4.0		
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価				3.0		
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価				5.0		
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価				3.0		
水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価				2.2			
エネルギー消費の実態把握に努める		エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	-	
みどり ヒートアイランド対策		③ みどり・ヒートアイランド対策						
項目		評価内容				スコア	評価	
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				2.0	3	
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価				3.0		
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価				3.0		
その他								
先進的技術の導入		技術の名称			考慮事項			
特に配慮した事項								